広報 はきみ

No.388

1995年6月号

ぼくたちもがんばっています

波佐見中陶芸部

先の九州山口陶磁展の学生の部に陶芸部ではじめて出品、優秀な成績を収めました。現在、部員は1年から3年まで男子生徒の7人。石田和美先生の指導のもと、少人数ながら、仲良く創作活動に励んでいます。将来、ここから陶芸家が生まれるかもしれませんね。（10ページに関連記事）

町の人口（5月末）

総人口	15,849人（＋3）
男	7,598人
女	8,251人
世帯数	4,197世帯（＋8）
転入	40人
転出	39人
出生	8人
死亡	6人

（　）は前月比

「下水道」とは

水質浄化の強い味方

水は限りある資源とともに、自然の豊かな恵みでもあります。私たちが毎日飲む水、また、顔や体を洗ったりする水は、自然の流れの中で、一時的に借りているのです。あなたが物を借りたとしたら、汚れたまま返すでしょうか。水にしても同じといえます。私たちは排水を家庭から流す前に、きれいな水にしていくことが、水を使う私たちの責任です。

水質汚染が進む中、川や海の水質保全とともに、自然や健康的な生活を守るために必要なのが「下水道」です。

川や海の汚れの原因は何でしょう

私たちの生活が豊かになっていく反面、いつのまにか川や海が汚れ、住んでいた魚や虫を追い出し、自然環境を悪くしています。

川や海をきれいにする対策として、工場排水の規制に取り組み、きれいになったところもありますが、最近では大きな工場がないところなどは、汚れがひどくなっています。

この原因は、工場などの排水や家庭での洗濯水、料理に使った油などがそのまま流されていることが考えられます。

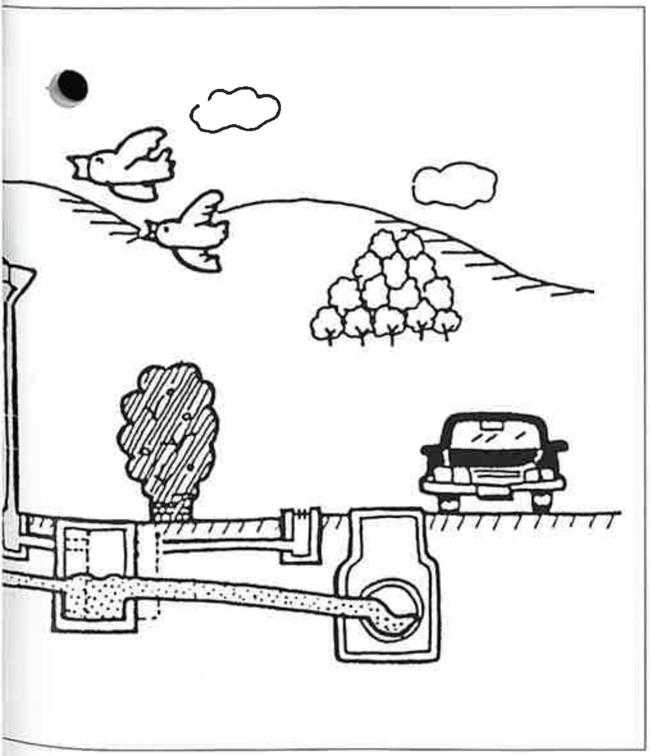
現在、町内の一部の世帯では「合併浄化槽」が設置され、し尿と生活排水を一緒に処理して放流していますが、ほとんどの家庭では、し尿はくみ取り式で、生活雑排水を直接流しているのが現状です。

下水道はなぜ必要なのでしょう

これまで、家庭などで使われた水は、海などへ流れていく過程で、砂利や砂などによるろ過作用、また微生物によって有害物質が分解されるといったように、自然の物は自然の作用で浄化されていました。しかし、生活環境の変化に伴い合成化学洗剤などの使用が多くなり、自然作用では浄化できないのが現状となっています。自然浄化のできない物質は、巡りめぐって最終的には、私たちの体内に取り込まれることになります。

下水道は、私たちの毎日の暮らしの中で使われたたくさんの水を集めてきれいにし、川や海に返す役目を果たします。

ところが日本では、下水道の整備が遅れています。汚れた水は、そのまま住宅近くの道路側溝や水路を流れ、川や海に流れ込み、自然を汚しているだけでなく、私たちの暮らしに悪い影響を与えています。



下水道が整備されると

環境保全が図られます

家や工場などから流れ出る汚れた水は衛生的に処理され、蚊やハエの発生を防ぎ伝染病の予防にも役立ちます。

水質保全が図られます

町内を流れる川や用水路がきれいになり、魚が住めるようになります。自然環境を保全し、生活環境が向上します。

水洗便所化ができます

快適な水洗便所となり、家の中の臭いがなくなり、くみ取りの必要もなくなり、健康管理にも役立ちます。

魚が住める水質にするために必要な水の量
ふろおけ（300ℓ）に何杯分？

しょう油（15mℓ）	1.5杯分
米のとぎ汁（2ℓ）	4杯分
みそ汁（200mℓ）	4.7杯分
マヨネーズ（10mℓ）	8杯分
生ビール（150mℓ）	11杯分
使用済みの天ぷら油（500mℓ）	330杯分

＊魚が住める水質とは、B．O．D５mg／ℓ(ppm)です。
＊B．O．D（生物化学的酸素要求量）：水の有機汚染指標の一つ。水がどの程度汚れているかを示す基準で、数値が高くなるほど汚れていることになります。

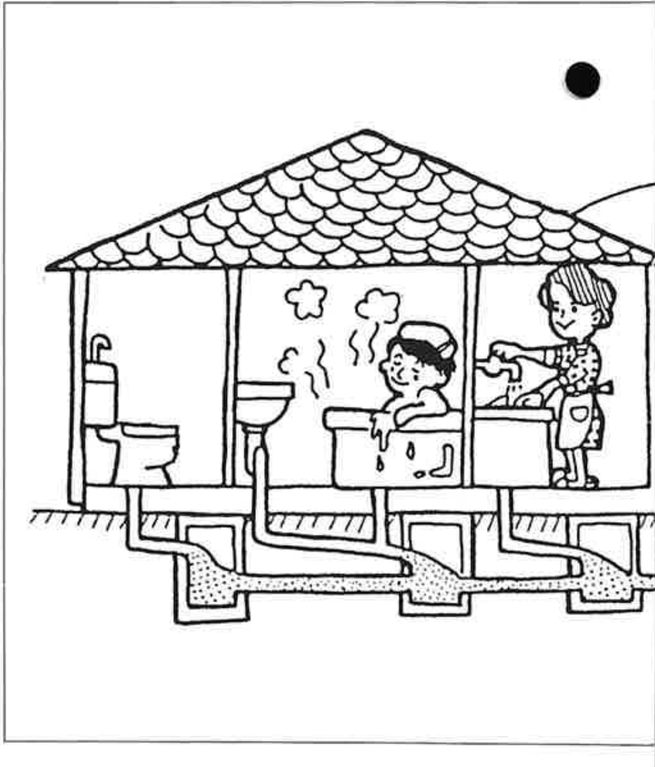
基本構想・基本計画を策定中

下水（し尿および生活排水など）の処理方法としては、各家庭で行う家庭用個別合併浄化槽による方法と、各家庭や工場から出される汚水を、下水管を通して終末の浄化センターまで運び処理する集合処理の方法などがあります。

集合処理の種類には、公共下水道、農業集落排水などの事業があります。

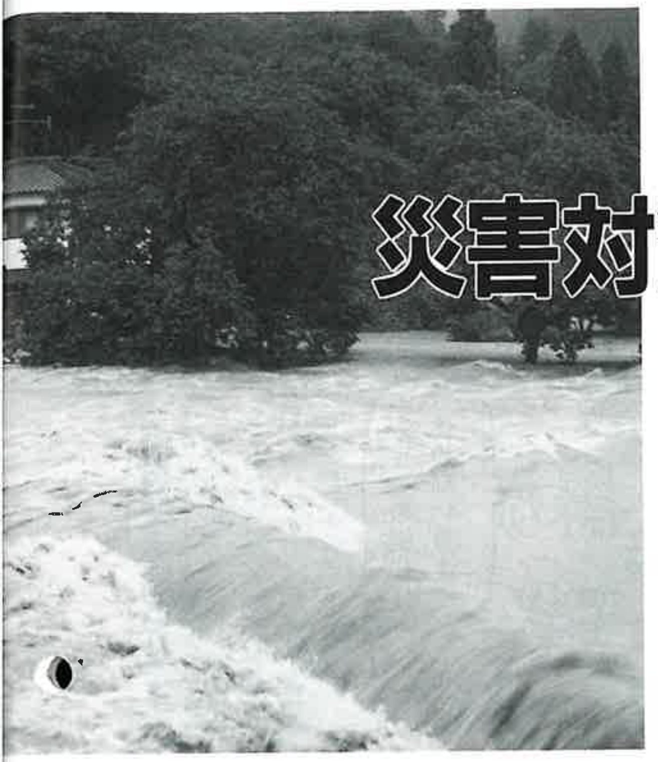
町では、経済性や地域性を考慮しながら、集合処理をする区域と、各家庭個別で処理する区域とを区分したり、下水管ルートの検討などを行いながら、基本構想および基本計画を策定中です。

このような計画がまとまりしだい、地区説明会を開催するようにしていますので、皆様のご理解・ご協力をお願いします。



これから梅雨のシーズン

災害対策は万全ですか？



土砂災害に注意！

昨年は少雨による異常渇水のため、飲料水はもちろんのこと、農作物、自然環境などに大きな影響がありました。

そして雨が降ってくれることの恩恵を改めて感じさせました。しかし、これが一旦、雨が降り過ぎて集中豪雨になったらどうでしょう。

甚大な被害をもたらした平成2年の7・2災害。あれから5年経とうとしています。災害は忘れた頃にやってくると、よく言われます。

今年の九州北部地方の梅雨期の予報では、例年より、雨が多いと言われており、昨年の渇水による地割れへの影響も心配されます。

予告なしにやってくる災害に対し、梅雨本番を迎えるこれから、気象情報には十分注意し、準備をしておきましょう。（写真は平成2年7・2災害から掲載）

集中豪雨とは

集中豪雨とは、比較的短時間に狭い区域に多量に降る雨を言い、どのくらいの範囲に、何時間に何ミリと言うはっきりとした決まりはないようです。

集中豪雨は、よく馬の背を分けて降るというように局地的、いつどこで、急に降り出すか分からぬというゲリラ的性格をもち、さらに人間活動の弱点をつく、夜から朝にかけて降りやすいということから、夜行性があると言われています。

集中豪雨の正体は学術的に十分に明らかにされていないのでその予報は難しいとされ、実際の集中豪雨は、たいていは雷が伴うと言われています。

土石流や山崩れ・崖崩れなどの大災害をもたらす集中豪雨には注意しましょう。

日ごろからの心構え

本町のこれまでの集中豪雨による被害の状況をみれば、河川周辺の家屋浸水や水田冠水、山間部での土砂崩れや地すべりなどさまざまな被害があげられます。平成2年7・2災害復旧でも種々の対策が講じられていますが、それでも自然が相手ですから万全ということはありません。日ごろから災害に対する心構えが必要です。

土砂災害の特徴と備え

6月は土砂災害防止月間

今年は特に昨年の渇水で地割れによる土砂災害が予想されます。土砂災害は、集中豪雨や長雨が引き金となって起こるケースがほとんどです。また、突発的に起こるのが特徴です。

普段からテレビなどの気象情報に注意するとともに、いざというときのために避難する場所やそこまでの経路もあらかじめ家族や地域で確認しておいたほうがよいでしょう。食料や飲料水、懐中電灯、ラジオ、ローソク、貴重品などをまとめた非常袋を常備しておくことも大切です。

土砂災害の前兆

降り始めから雨量が100ミリを超えたり、1時間に20ミリ以上の雨が降ったら注意が必要です。土砂災害では、次のような前兆が考えられます。

【がけ崩れ】

・斜面の途中から急に水がわ

き出した
・斜面からパラパラと小石が落ちてきた
・石垣やコンクリート擁壁にずれやはらみ、亀裂が生じた

[地すべり]
・井戸水が濁ったり、池の水位が変わった
・地面にひび割れができた
・地面が陥没したり、盛り上がった

[土石流]
・川底でゴロゴロと石の流れる音がする
・川の水かさが急に減り始めた
・川の水が急に濁ったり、流れに流木が混ざったりしていた

危険を感じたら早めに避難を

町では、毎年、梅雨期前に、警察、関係者とともに町内の災害危険箇所の巡視を行っており、必要な措置をとっていますが集中豪雨などで、いつ災害が発生するか分かりません。

土砂災害の前兆などを参考にし、少しでも危険を感じたら、ただちに、地区の総代を通して役場に連絡しましょう。

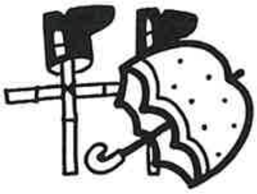
避難が必要になったときは皆さんに防災無線、消防車、広報車でお知らせしますが、皆さん自身が危険と感じたら、自主的に、早めに避難しましょう。

気象情報

九州北部地方6月から8月予報

平成7年5月19日に福岡管区気象台が発表した「九州北部地方3カ月予報」は以下のとおりです。
6月から7月の2カ月降水量は平年より多いでしょう。夏（6月から8月）の期間の気温は平年並でしょう。

天気



6月　前線や低気圧の影響で、曇りや雨の日が多いでしょう。
7月　前線や低気圧の影響で、平年より曇りや雨の日が多いでしょう。
8月　晴れの日が多いでしょう。

要素別予報

要素	予報対象地域	6月	7月	8月
気温	九州北部全域（山口県を含む）	平年並	平年並	平年並
降水量	九州北部全域（山口県を含む）	平年並	多い	平年並
日照時間	九州北部全域（山口県を含む）	平年並	平年並	平年並

（雨の強さと降雨状況）雨の降り方に注意しましょう

通称	雨の強さmm/時間	降雨状況
小雨	1未満	地面がほとんどぬれないか、かすかに湿る程度。傘なしでもレインコートで間に合う。
弱い雨	1～3未満	地面がすっかり湿る。
雨	3～8未満	地面に水たまりができる。
やや強い雨	8～15未満	雨の降る音が聞こえる。
	15～20未満	地面に一面水たまりができる。雨の音で話がよく聞きとれない。寝ている人の半数くらいが気づく。
強い雨	20～30未満	どしゃ降りになり、傘をさしていてもぬれる。側溝がたちまちあふれる。小川のはんらんが始まる。
	30～50未満	バケツをひっくり返したように降る。都市では下水管があふれる。山崩れ・がけ崩れが起こりやすい。場合により避難の準備を始める。大雨注意報がでる。
激しい雨	50以上	滝のように降る。雨しぶきで辺りが白っぽくなる。土石流が起こりやすい。大雨警報が出る。

雨が畳2枚の広さに降った場合のおおよその見当

大雨に関する注意報と警報の基準

	1時間	3時間	24時間
大雨注意報	30mm	60mm	90mm
大雨警報	50mm	100mm	150mm

常陸宮（ひたちのみや）両殿下 本町をご訪問

県窯業技術センターを視察される

常陸宮両殿下が皇室としては初めて、五月十四日、本町をご訪問になり、県窯業技術センターを視察されました。

これは、南高小浜町で開催された第49回愛鳥週間「全国野鳥のつどい」に出席された際に立ち寄られたものです。

この日は降りしきる雨の中で、松尾県副知事、県関係者、本町からは松尾町長はじめ町議会、窯業関係者などが出迎えました。

同センターでは、関秀哉所長の案内で窯業産地の概要説明を受けられ、つづいて、日本一といわれる窯業技術研究設備を見学されました。また、ろくろ成形実演では、現代の名工田澤大助さん（井石郷）のあざやかな手法に目を止められ、道具についての質問もされるほど興味深く見られました。その後、やきものの展示品をご覧になり、波佐見を後にされました。

コンピューターグラフィックデザインとろくろ実演をご覧になる両殿下

野生生物保護功労者として 江口末男さん（折）に褒状（ほうじょう）

五月十四日、南高小浜町で開催された第49回愛鳥週間「全国野鳥のつどい」で、野生生物の保護に貢献されたとして、折敷瀬郷、江口末男さんに(財)日本鳥類保護連盟から褒状が贈られました。

江口さんはこれまで十数年の永い間、長崎県自然保護指導員、日本の野鳥の会長崎支部会員として、野鳥の生態調査や研究を続けられる一方、野鳥写真家として、写真を通して野鳥保護の思想、啓もうに尽くされ、また、自然保護のため巡回指導に従事、野生生物の保護に努められたものです。

農業経営の発展を目指して 認定農業者制度が始まりました

認定農業者制度とは、農業者が作成した農業経営の規模拡大など、農業経営の改善を図るための計画（農業経営改善計画）を町の基本構想に照らして認定する制度であります。

認定を受けた農業者に対しては次のような支援措置があります。

一、農用地の利用集積の支援

二、税制上の優遇措置

三、融資面の配慮

四、研修などの実施

以上が主なものです。

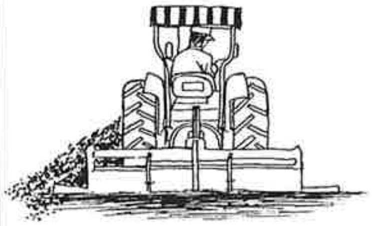
また、認定志向農業者等の農業経営改善計画作成への取組みなど、支援相談活動をするため、波佐見町農業経営改善支援センターを設置しました。

この制度に対するお問い合わせは、農業委員会か農林課までお尋ねください。

なお、波佐見町の農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想では、将来（概ね十年後）の農業経営の発展の目標を明らかにし、効率的、かつ安定的な農業経営を育成することとしています。

具体的な農業経営の指標としては、農業経営の発展を目指し農業を主業とする農業者が、地域における他産業従事者並みの年間農業所得（主たる農業従事者一戸あたり七百万円程度）年間労働時間（主たる農業従事者一人あたり二千時間程度）の水準を達成できるものとしています。

そして、これらの経営が本町農業生産の相当部分を担う農業構造の確立を目指しています。



看護特集

「看護への理解と関心を」

私も一日看護婦さん

川棚国病でふれあい体験

近代看護の創始者ナイチンゲールの誕生日にあたる五月十二日は「看護の日」。この日、国立療養所川棚病院では昨年に引き続き「ふれあい看護体験」が行われました。

これは五月七日から十三日までの看護週間に、一人でも多くの方に参加していただき、「一日看護婦」になってもらい、患者さんとのふれあいを通して、看護への理解と関心を深めていただこうと行われたものです。

郷内の二十代から七十代の主婦ら二十一人（波佐見から十二人）が参加。看護の基本や入浴介助のし方などを実際に体験し、患者さんへの心くばりなども勉強しました。

ここに、貴重な体験をされた方の感想を紹介します。

◀波佐見からの体験者

一日看護体験に参加して

村木郷　広瀬　セキさん

五月十二日「ふれあい看護体験」に婦人会日赤部で参加させていただきました。憧れの白衣を初めて身につけ、病棟ごとに、食事や洗髪の介添え、清拭、配膳など看護婦さんの日常の仕事の一部を体験させていただきました。

看護婦さんの指導を受けながらの看護でしたが、今までの漠然と見ていた看護婦さんの仕事の大変さを再認識し、頭の下がる思いでした。

患者さんとのふれあい、語らいの中で自分自身反省することや学んだことがたくさんありました。特にコミュニケーションをはかる言葉づかいの大切さと、心の持ち方の大切さを痛感しました。寝衣の着がえや清拭のコツなど教えていただき、自分の家族の看護に役立ちそうです。

現在の健康に感謝しながら、お世話させてもらいましたが、「今日は最高の日」と言われた、患者さんの喜びが我が身に返ってきました。参加して体験したことは、人のためと言うより、自分の勉強になることの方が大きかったと思いました。

有意義な一日を計画してくださったことに感謝しながら清々しい気分の一日体験でした。

◀看護をされる広瀬さん

看護婦の最高の栄誉
ナイチンゲール記章を受賞

波佐見町出身　久村　キヨさん

看護婦に与えられる最高の栄誉とされる赤十字国際委員会のナイチンゲール記章が波佐見町志折郷出身、久村キヨさん（長崎市在住、七十一歳）に贈られることが決まりました。

五月十二日のナイチンゲールの誕生日に発表されたものです。長崎県では初めての受賞。本町にとっても栄誉なことです。

久村さんは戦時中の昭和十八年、日本赤十字社甲種救護看護婦養成所を卒業。従軍看護婦としてマニラ、パギオで従事、終戦まで過酷な状況の中で看護にあたられました。

その後、長崎原爆病院で被爆者の看護に献身的に尽くされたのを初め、「博愛の精神」で、数々の病院で勤務。日赤長崎原爆病院看護部長の要職を最後に退職。その道一筋、四十有余年勤められ、看護の発展に多大の貢献をされました。現在も医療ボランティアで活躍されています。

志折郷、久村久一さんの妹にあたられます。

ナイチンゲール記章とは

イギリスの看護婦制度の創始者で、自ら戦場に出向き、人命救助に従事して活躍、多くの病院や看護施設の創立・改革に努力し、衛生思想の普及にあたったナイチンゲールにちなんで、国際赤十字社が設けた賞。世界各国の優秀な看護婦に与えられる。

雨空も吹き飛ばすような歓声

第11回青空天国子供のつどい

青少年の健全育成を目的に5月14日、中央小体育館で波佐見ライオンズクラブ主催の「第11回青空天国子供のつどい」が行われました。

当日はあいにくの雨もようで、予定されていた熱気球の乗船体験が今年も中止となりましたが、約250人の子どもたちが参加。

会場ではジャンケン大会、クイズ百点満点、ボール投げゲーム、ジャンボダイスゲームなど楽しいレクリエーションがあり、子どもたちの雨空も吹き飛ばすような「ワッ、ワッ」という歓声が体育館いっぱいに広がっていました。

昼食にはライオンズクラブ会員の手料理のカレーライスが配られ、おいしそうに食べていました。その後映写会もあり、楽しい一日を過ごしました。

川の大切さを知ろう

ウォーキング波佐見の川

河川とのかかわりが薄れる中、川の大切さを再認識しようと、波佐見・緑と水を考える会では5月13日、波佐見川河畔で「ウォーキング波佐見の川」を開きました。

この日は大人から子どもまで約60人が参加。コースは岳辺田から宿の約6キロ。参加者は6カ所のチェックポイントで出題された河川や環境に関するクイズに挑戦したり、途中、あき缶拾いなどをしたりして、川面に浮かぶ鳥たちや田園風景を見ながら、川辺の自然に親しみました。

気品あるえびねが一堂に

第13回東彼えびね展

郡内の愛好家が丹精込めて育てたえびねを一堂に展示した、第13回東彼えびね展が4月29日、30日の2日間、町公民館で開かれました。

会場には、愛好家自慢のキエビネ、タカネなど98点が出品。色鮮やかな、気品あるえびねの展示に訪れた人は、栽培方法など情報交換をしながら熱心に見入っていました。今年の出品数は昨年の干ばつの影響で昨年の半分くらいとのことです。

中央小学校校舎改築落成を祝う

平成５年度から進められていました中央小学校校舎改築事業で校舎が平成７年３月に完成、４月から開校していましたが、このほど、周辺整備などほぼ完了。６月３日、中央小体育館で、来賓、関係者約160人が出席し、落成式が行われました。

式では松尾町長が、これまで、この事業に協力していただいた方々に対し、感謝の意を述べるとともに、本校が将来に向かって、健全な人格の形成や、豊かな情操教育の場として発展してもらいたいとあいさつ。また、各来賓から祝辞がありました。引き続き、町から功績・功労があった方に対して感謝状の贈呈が行われ、新しい校舎の落成を祝いました。

黒板伸夫・永井路子さんご夫妻来町

５月22日、23日、黒板伸夫・永井路子さん（黒板擴子）ご夫妻が本町を訪問されました。

今回は、波佐見町の歴史に深く関わりのある黒板家の先祖の墓参にこられたものです。黒板氏研究会では早速、波佐見史談会員らグループによる「黒板氏研究会」を開催しました。研究会では、永井路子さんによる「地方史（郷土史）研究の在り方について」の講演もありました。

永井さんは昭和39年「炎環」で第52回直木賞受賞。ＮＨＫ大河ドラマ「草燃える」の原作者。

新茶の手摘みが行われました

５月３日、野々川郷の太田正和さんの茶畑で品評会用新茶の手摘みが行われました。

一般的には、機械摘みが進み、手摘みはあまり行われていない中、やはり、手摘みが品質には一番良いとの事から、地区、親戚の人一同で、一つずつていねいに摘んでいました。

太田さんの話によると「昨年の干ばつの影響で収量は若干減少しているが、品質には問題ない」とのことです。

農耕車に注意！

町農業機械士会では農作業の事故防止と安全を願って、このほど町内の約50カ所に看板を設置しました。これは現代の車社会で農作業の機械化も進み、トラクターなどの車両事故が増えていることから取り組んだもの。６月は田植えのシーズン。本町は圃場整備で農道が整備されており、特に一般車、農耕車の行き交いが多いようです。ハンドルを握る人はお互いに注意し、安全運転に心掛けましょう。

同機械士会は昭和57年に発足、現在の会員は11人。農作業の事故防止のため、危険箇所の調査、機械点検、講習会などの活動をしています。

ひろば

シリーズ 人

九州山口陶器展で優秀賞を受賞した

山口裕介くん(15)

（岳辺田郷）

受賞作品の湯呑み

西日本陶芸の発表の場といわれている九州山口陶磁展の学生の部で、見事、優秀賞を受賞。五月四日の有田町の九州陶磁文化館の表彰式では「緊張しました」と話す波佐見中陶芸部3年の山口くん。

作品は「湯呑み」。これまで手びねりの制作だったがはじめて、ろくろに挑戦し、土練り、ろくろ、けずり、釉薬かけ、焼成という工程を一人で手掛けたのがこの作品。陶芸部にはやきものを作るのがおもしろそうだったから入ったという。これから、文化祭に向けて、花瓶など大きいものに挑戦したいとの抱負。そうして「卒業までに、箸置きを作り、先生にプレゼントしたいです」と話していました。

飛び出せ！青春

神近浩二さん(22)

◆住　所
井石郷

◆勤務先
(有)みぞかみ陶器

◆好きな言葉
自然体

◆趣　味
野球、ドライブ

◆まちに一言
野球場を設けてほしい

よい子 つよい子 元気っ子

両親から
いつも笑顔の心やさしい女の子になってね

山口瑠夏（るか）ちゃん

（中尾郷）

H6．6．2生まれ

山口　浩幸　陽子　さんの二女

このコーナーに登場していただく、満一歳前後の子どもさんを募集しています。掲載希望の方は役場商工企画課（八五―二一一一）まで連絡してください。（締め切りは毎月二十日です）

両親から
元気で素直な子に育ってほしい

小畑和真（かずま）ちゃん

（鬼木郷）

H6．6．13生まれ

小畑　孝行　友代　さんの三男

パチリ

「どうか入いりますように」

～バスケットゲーム～

5月14日青空天国子供のつどい（中央小体育館）

みんなの サークル紹介

協和バレーボールクラブ

三十五歳から四十八歳までの家庭の主婦十二人がメンバー。半数がバレーの経験者です。健康づくりと親ぼくを目的にこのクラブが結成されて十六年の伝統をもつ。

練習は毎週木曜日に行っており、これまで休んだことがなく、集まりも良いという。

男性の応援指導もあり練習にも気合いが入っている。

これまでの成績は、夜間リーグでは昨年、今年と連覇を達成。最近ではチームとして、さくらまつりなど出場し、地区の活性化にも一役かっている。試合後の反省会でも他に負けないにぎやかさも……？

今後の抱負として「やはり、婦人バレー大会で優勝したいですね」とメンバーの後藤さんは話していました。

広報文芸

短歌

嬉野の茶摘み乙女の絵姿を
お湯に浸りてじっと見ており　川島　竹信

中学の入学式に登校の
子ら押し並べて大きめの服　山口　笑子

児ら去りし廃校の庭にはらはらと
桜散るなり去年そのままに　菅　トキエ

早春を告げ咲きし梅　弥生には
はや小さき実の鈴成りにつく　田崎ツネ子

隅田川河畔につづく桜花
今日のニュースの映像に見る　入江　リキ

ウマウマと百(もも)ケ日(にち)来し「花菜(かな)」のいう
時代に沿うか育ちも早し　中村　ハル

柿右ェ門の庭のさくらの枝たわわ
白漆喰(しっくい)の土蔵に映ゆる　星野　愛子

春雨に煙る天草訪ぬれば
港に四郎の像が迎える　山口　信男

梨棚のかおる若葉に白き花
また咲くごとく袋掛けらる　本山　茂

（短歌睦詠会）

第17回婦人ソフトボール大会

湯無田が初優勝

昨年に続き協和2位

第17回婦人ソフトボール大会が、5月28日、町公民館主催のもと、鴻ノ巣グラウンドで開かれました。

今年からみんなが楽しめるようにとスローピッチ投法へ変更。町内の各地区から14チームが参加しました。会場には地区から多くの応援者も駆け付け、白熱した試合が展開されました。

優勝した湯無田チーム

決勝戦は、予選リーグ、準決勝と波に乗り、勝ち進んできた湯無田と前年度準優勝で接戦を勝ち抜いてきた協和タンポポの対戦となりました。

さすがに決勝戦とあって攻守そろった両チーム譲らず、無得点のまま試合は進行。均衡が破れたのが4回裏、湯無田の攻撃、この回先頭バッターの前川選手が強いショートゴロを打ち、相手のエラーを誘い出塁、つづく今井選手がレフト前のタイムリーヒットを打ち1点、それに相手のエラーがらみでさらに1点追加。

もう、これ以上、点はやれない協和タンポポもレフト中尾選手の好守備で相手の攻撃を2点どまりに押さえます。そして、最終回、協和タンポポの反撃が待たれましたが、湯無田の堅実な守備がこれを阻みました。その結果、湯無田がワンチャンスを生かして、初優勝を飾りました。

＊はパート優勝

試合結果

［予選リーグ］

協和タンポポ	5－3	永尾
永尾	7－1	稗木場
協和タンポポ	2－1	稗木場
志折	9－1	田ノ頭
志折	6－1	小樽
宿	7－3	小樽
宿	10－2	田ノ頭
＊宿	1－0	志折
湯無田	6－1	協和スイートピー
乙長野	10－0	協和スイートピー
湯無田	9－8	乙長野
折敷瀬	4－3	中尾
折敷瀬	6－3	村木
野々川	10－7	村木
野々川	22－6	中尾
＊折敷瀬	2－1	野々川

［準決勝］

協和タンポポ	9－8	宿
湯無田	5－2	折敷瀬

［決勝］

湯無田	2－0	協和タンポポ

第50回町民卓球大会

井石が優勝（団体）

第50回波佐見町民卓球大会が5月14日、勤労者体育センターで行われました。

今回は記念大会とあって団体戦、個人戦に80人が参加し熱戦が展開されました。試合終了後は豪華な景品が当たる抽選会も行われました。

主な成績は次のとおりです

［団体］①井石②波佐見中男子A③波佐見中男子B③佐世保実業高

［個人］男子A＝①増田穂積（折敷瀬）②樋口正雄（JA東彼）③川田崇（波佐見高校）③岩崎純一（波佐見中教員）男子B＝①久保田豊（波佐見中）②尾塚友和（同）③北村祐二（同）③矢野哲男（波佐見中教員）女子＝①辻富士美（宿）②岳川晃子（波佐見中）③谷添涼子（同）③古賀美恵子（同）

「長崎県高齢者ふれあいスポーツ大会」

5月18日、諫早市県立運動公園で開催されました。波佐見からグラウンドゴルフで波佐見井石C（森正秋、川内初市、田中邦裕、田添強、井村佐和、田中久枝）チームが優勝、また、ゲートボールでは3位という優秀な成績を収めました。

県高総体ソフトボール大会

波佐見高校（女子）準優勝

九州大会（沖縄）出場へ

6月3日から5日、長崎県高等学校総合体育大会が佐世保市を会場として開催されました。この大会には県内から26校が参加。

シード校として出場した波佐見高校は、順当に勝ち進み、準決勝ではシード校同士の対戦。波に乗る波佐見高校は佐世保東商業高校に逆転勝ちし、決勝に進出しました。決勝では長崎商業高校との白熱した試合展開となり、善戦しましたが、相手の好守備に阻まれ、波佐見高校は惜しくも3対5と及ばず、準優勝となりました。

準優勝となった波佐見高校は、7月21日から23日に沖縄で行われる九州大会の出場権を獲得しました。九州大会での活躍を期待します。

町グラウンドゴルフ協会親善大会

(宿)井手清己さんが優勝

2位までが新記録

5月7日、五月晴れの好天気に、鴻ノ巣グラウンドで、第4回波佐見町グラウンドゴルフ協会親善大会が開催されました。

これは、グラウンドゴルフを通して相互の親睦と健康増進を図り、生涯スポーツの振興を目的として行われたもの。28チーム、361人参加。

開会式では、金氏計徳会長が「親しみやすく、楽しいということで年々盛んになっている。波佐見町は会員数、実力でも県内トップクラスに入る。健闘を期待します」とあいさつ。3コース・24ホールで熱戦が展開されました。

競技では慎重に打つ人、豪快にホールインワンを狙う人、寄せがうまい人などが見られ、なごやかに競技が進められました。

試合結果ではこれまでの記録51打数を破る新記録が二人出て、(宿)井手さんが47打で優勝、(湯)野口さんが50打で2位となりました。

主な試合結果

①井手清己(宿)②野口進(湯)③石田一夫(湯)④藤田勇(中)⑤村木瑞穂(小)⑥川口今夫(中)⑦中野保(中)⑧久保輝雄(折)⑨石橋満(湯)⑩田中邦裕(井)

婦人バレーボール大会

野々川V奪回

婦人バレーボール大会が5月21日、勤労者体育センターで行われました。

町内から6チームが参加。

日ごろの練習の成果をこの試合に発揮しようと猛ハッスル。相手のコートめがけての強烈なスパイクやスライディングレシーブも見られ、得点したときには大きな歓声が上がっていました。また、普段、応援役にまわるお母さんたちも今日は主役。子どもからの「お母さん、がんばって」の応援もありました。

結果、決勝戦では昨年の覇者、鬼木と実力の野々川の対戦となり、接戦のすえ、野々川が粘る鬼木を振り切り、久々に優勝しました。

試合結果

Aパート
鬼木2―1湯無田
鬼木2―0皿山
湯無田2―0皿山

Bパート
野々川2―0アドバンス
野々川2―0稗木場
稗木場2―0アドバンス

決勝
野々川2―1鬼木

近接中学校招待女子ソフト

波佐見中連覇

5月28日、波佐見中学校で近接の中学校10校を招待し行われたこの大会、地元波佐見が他を寄せ付けず、圧倒的強さを見せ、昨年に続き、優勝しました。

主な結果

[準決勝]
波佐見中6―0嬉野中
西海北中16―2塩田中

[決勝]
波佐見中13―3西海北中

壮年スローピッチソフトボール大会開催

日時　7月30日（日）
場所　甲辰園グラウンド
主催　波佐見町ソフトボール協会
部門　壮年の部(40歳以上)、実年の部(50歳以上)

詳しくは、町ソフトボール協会事務局の楠本和弘さん（自宅☎85―6457、職場☎85―2111）へ。

町テニス協会会長杯

テニス大会のお知らせ

期日：6月25日(日)
午前9時から受付
午前10時試合開始
場所：鴻ノ巣公園テニスコート
種目：男子ダブルス、女子ダブルス
参加資格：波佐見町存在若しくは勤務でテニスの好きな方
参加料：1人300円

優勝者にトロフィー、全員に参加賞を進呈します。おさそい合わせの上、気軽にご参加ください。

病気一口メモ

その110

高齢者の入浴

東彼医師会　須山健三（東彼杵町）

　日本人は入浴や湯治が好きで、慢性疾患や脳血管障害の麻痺、種々のリハビリテーションなどのほか、体力づくりや健康増進にも効果が認められています。しかし、社会の高齢化と共に、入浴中の事故も多くなってきました。

　栃木県で最近十五年間の、入浴中の死亡事故は一、三四八件で、年平均九〇件にもなっています。しかも年々一〇％の割合で増え続けてきました。

　八月には三一件と少なく、十二月には二二六件で、冬には夏の五—七倍も多くなります。

　同県内の六十歳以上では、二十四時間以内の交通事故死が九八一件に対し、入浴中の事故死は一、一一七件で、意外にも老人では、交通事故死より入浴事故死がはるかに多い事がわかります。

　入浴事故が増えているのはなぜでしょうか。

　社会的には㈠老齢人口の増加。㈡核家族化の進行。㈢内湯の普及などで、老人が一人で長時間入浴するようになったためといえます。

　医学的には、㈠皮膚の感覚が低下して適温がわからず、危険な高温の入浴で、血圧が大きく変動し発作を起こす。日本人ほど熱い湯に入る民族は無いようです。㈡長湯で汗が出て脱水し、血液が濃縮すると、動脈硬化の多い老人では梗塞が起こりやすい。㈢熱い湯で末梢血管が急に拡張し、血圧が下がり脳虚血の引き金になる。特に自律神経失調のある老人は、日本式の深い浴槽では、水圧の変化に適応できず、容易に脳の循環不全を起こす。㈣入浴事故は飲酒後が多い。等々の理由が考えられます。

　四三度以上の高温の入浴実験で、血液内に血管収縮物質が著しく増え、飲酒後入浴では驚く程増加し、血圧が上昇する事がわかりました。

　以上のように「入浴は両刃の剣」と言うことができます。

　入浴事故を防止するために、㈠入浴の可否を医師と相談する。㈡飲酒直後の入浴は絶対にしない。㈢湯の温度を測って適正（四〇±二度）にする。

　その他に家族と一緒に入浴するとか、「年寄に新湯は毒」のことわざを守るなどの注意が必要です。

☎健康テレホンプログラム

6	月
月	膵炎
火	子どもの腰痛症
水	子どもの胸痛
木	カビによる皮膚病いろいろ
金	もの忘れは老人性痴呆の始まりか
土・日	男性不妊症

7	月
月	日射病・熱射病
火	ピアスによる合併症
水	子どもの歯のけがについて
木	夏に多い子どもの皮膚病
金	胎教は有効か？
土・日	更年期障害と漢方療法

佐世保 ☎ 23—4300

※祝祭日は前日のテープが流れます。

こんにちは保健婦です

〝休養〟快い目覚めのコツ

　快い目覚めを迎えるためには、質の高い睡眠をとることが必要です。質の高い睡眠は、昼間どれくらい眠らないでいたかということと、一日の生体リズムが保たれているかという二つの要因によって決まると言われています。

　昼間はなるべく体を動かし、昼寝をとるとしても正午近くの短時間に限り、夜更かしや朝寝坊を戒め、規則正しい生活リズムを守ることが大切です。

　活動と休養のバランス、睡眠と覚醒のサイクルを整えることは健康的な生活リズムの基本ですが、現代社会では体の二十四時間周期の自然なリズムが乱され、睡眠の質が低下し、快い目覚めが妨げられがちです。また、眠る前のコーヒー・熱めの湯への入浴・飲みすぎ・ストレスなども良い睡眠の妨げとなることは言うまでもありません。

　さあ、今日から、規則正しい生活を始めましょう！

水道事業の公認業者の指定について

本町の水道条例では、水道工事を施工する場合、町長が認めた給水工事業者以外で施工する事はできないように定められています。

各家庭などで水道の新設や修理をされる場合には公認業者に依頼してください。

なお、公認業者は次のとおりとなっております。

給水工事公認業者

会社名	部落	電話
(有)本岡商店	湯無田郷1037番地	85—7908
(有)百武建設	湯無田郷973番地2	85—2242
(株)上山建設	湯無田郷849番地1	85—3697
(有)波佐見電設	折敷瀬郷1705番地	85—2329
(有)波建	折敷瀬郷1787番地5	85—2135
(株)小佐々建設	折敷瀬郷1750番地1	85—2506
(有)堀池電気商会	宿郷536番地1	85—3236
(資)銀杏屋商店	宿郷571番地7	85—2025
(株)井石建設	宿郷555番地	85—3557

波佐見郵便局からのお知らせ

７月２日から波佐見町郵便局の窓口取扱時間などが変更になります。

◎郵便窓口　現在、平日は19時まで行っていますが、17時までとなります。

◎ＡＴＭ（現金自動預払機）　現在、平日は19時までとなっていますが、18時までとなります。

なお、土曜・日曜・祝日は変更ありません。

町の事業

５月に発注した町の工事をお知らせします。

▶桜づつみ整備工事（１工区）　865万円（西部道路）

▶町道鬼木線暗渠布設工事　133万円（成富建設）

年金コーナー　国民年金のしくみ

国民年金は、「自分が年をとったとき、権利として年金を受けるために、今、年金を必要としている人のためにお金を出す」という世代間で支えあう制度です。

ですから、現在加入していない人には将来何の保証もされない場合が出てきます。つまり、保険料を納めないと、年金を受け取る資格を失うことになるのです。

ときおり、「生命保険会社の個人年金に加入しているから、国民年金の保険料は納めたくない」と言われる方がいますが、公的な年金である国民年金と生命保険会社などの個人年金は、同じ「年金」という名であっても性格や役割、しくみは次の表のとおり違っています。国民年金の保険料を納めたうえで、なおそれ以上の保障を希望する方が個人年金に加入するというのが本来のあり方です。

国民年金と個人年金のしくみ

	国民年金	個人年金
しくみ	世代間の助け合いにより公平に年金を支給する、国の社会保障制度です。	個人が任意に契約し、老後に受け取る一種の貯蓄です。
運営	国	生命保険会社など
保険料	１カ月　11,700円（７年度）	個人が契約した額
年金の財源	年金額の３分の１を国が負担し、３分の２を保険料でまかなっています。	加入者の掛金と、その運用利息でまかなっています。
年金額の引き上げ	物価変動に応じて年金額がスライドするため何十年先でも年金の価値が保障されます。（完全自動物価スライド制）	契約したときの年金額。物価スライド制を取り入れていないため、物価が上昇しても契約した内容の年金額です。
税控除	納めた保険料は「社会保険料控除」として、全額所得から控除されます。受け取る年金は「公的年金等控除」が受けられます。	最高５万円までの控除です。受け取る年金には税の控除がなく、全額課税対象となります。
事務費	全額国が負担します。	加入者の掛金でまかないます。

募　集

新町40周年記念事業企画案

平成８年６月をもって旧上波佐見町と旧下波佐見村が合併して40周年の記念の年を迎えます。

このときにあたり、先人の偉業を称えるとともに、40周年を町民挙げてお祝いし、そして将来に大きく躍進する波佐見町を目指しての記念事業の実施を予定しています。

町では、記念事業の実施にあたり、広く町民の皆さんに企画案を募集します。文字数など制限はありません。多数ご提案ください。

なお、寄せられた企画案を検討し、今後正式な組織のもとに記念事業を決定していく予定です。

○提出期限　７月10日(月)
○提 出 先　波佐見町役場　商工企画課
〒859―37　波佐見町宿郷660
（☎85―2111）

＝国際交流クラブ員＝

近年、目まぐるしく国際化が進み、地方の町村にも国際化とその対応が求められています。

このたび、文化・スポーツの交流やホームステイなどの交流を通じての草の根国際交流の会「波佐見町国際交流クラブ」を結成いたしました。

国際交流に関心のある方や一緒に活動してくれる仲間を募集しています。多数仲間入りください。

詳しくは、事務局長岡村達馬さん（折敷瀬郷）まで

（昼）85―2111（職場）
（夜）85―4289（自宅）

税務職員（高校卒業程度）

○受験資格　昭和50年４月２日から昭和53年４月１日までに生まれた人
○受付期間　６月30日(金)～７月７日(金)
○試験日　９月10日(日)
○採用予定人員　九州地区で約70人

申し込みなど詳しくは、福岡国税局人事第二課（☎092-411-0031）、または佐世保税務署（☎22-2161）へお尋ねください。

児童手当の現況届はお済みですか！

児童手当は、児童を養育する人に手当を支給することにより、家庭における生活の安定と、次代の社会を担う児童の健全な育成および資質の向上を目的としています。

《児童手当を受給できる人》

児童手当は、３歳未満の児童を養育している人で、収入が一定の額未満の場合に受給できます。

《児童手当の額》

児童手当は、第１子および第２子は月額5,000円。第３子以降は１人につき月額10,000円が支給されます。なお、手当は毎年２月・６月・10月にそれぞれの前月分までが支給されます。

《現況届は６月中に》

受給者は、毎年６月中に児童の養育状況などを確認するため、現況届を提出する必要があります。現況届を提出しないと、受給資格があっても６月以降の手当を受けられなくなることがありますので必ず提出してください。

詳しくは、役場児童福祉係へお尋ねください。

恩給欠格者・引揚者の皆様へ
～請求はもうお済みですか～

総理府の認可法人である平和記念事業特別基金では、恩給欠格者（①外地勤務の経験があり、加算を含めた在職年３年以上の方、②外地勤務の経験があり、加算年を含めた在職年が３年未満で、実在職年が１年以上の方）に、内閣総理大臣名の書状・銀杯などを贈呈しております。

また、同じく引揚者（先の大戦の終戦に伴い、本邦以外の地域から引き揚げてきた方のうち、昭和42年法律第114号による特別交付金を受けた方）に内閣総理大臣名の書状を贈呈しております。

現在まで、多くの方々から請求を受けておりますが、まだ未請求の方は下記あて請求してください。

〈請求先〉　平和記念事業特別基金業務第１課
〒112　東京都文教区大塚５―３―13　☎03-3945-4704、なお、請求書類は、都道府県、市区町村の窓口にも置いてあります。

休日当番医

６月18日	鈴木医院（東彼杵）	0957(46)0145
25日	中村内科医院（波佐見）	(85)7325
７月２日	山本外科医院（川棚）	(82)2495
９日	坂口医院（波佐見）	(85)3000
16日	山川医院（東彼杵）	0957(46)0020
23日	中尾野中医院（波佐見）	(85)3077
30日	岡部内科医院（川棚）	(82)5005

今月のこよみ

6月（水無月）

20(火)	ナイター受付（町公民館 18：00～） 体育館利用調整会（町公民館 19：00～）
21(水)	婦人がん検診〔子宮・乳がん〕（農村環境改善センター 9：00～9：30、13：00～13：30）
22(木)	婦人がん検診〔子宮・乳がん〕（勤労福祉会館 9：00～9：30、13：00～13：30）
23(金)	婦人がん検診〔子宮・乳がん〕（農村環境改善センター 9：00～9：30、13：00～13：30）
24(土)	
25(日)	町ソフトバレーボール大会（勤労者体育センター）
26(月)	リハビリの集い（町公民館 13：00～15：30）
27(火)	中国語講座（町公民館 18：30～20：00）
28(水)	妊婦教室（農村環境改善センター 13：00～16：00）
29(木)	婦人がん検診〔子宮・乳がん〕（宿コミュニティセンター 9：00～9：30、13：00～13：30）
30(金)	

7月（文月）

1(土)	
2(日)	町婦人会ミニバレーボール大会（勤労者体育センター）
3(月)	母親教室〔母子手帳交付〕（町公民館 9：30～10：30） 胃ガン検診〔40歳以上〕（農村環境改善センター 8：30～11：00） 愛のテレホン子ども相談室（町公民館 9：00～18：00）
4(火)	胃ガン検診〔40歳以上〕（農村環境改善センター 8：30～11：00） ナイター利用調整会（町公民館 18：00～） 県自動車文庫巡回（町公民館 13：00～）
5(水)	乳児健康相談（農村環境改善センター 9：30～10：00 H7．3月生） 胃ガン検診〔40歳以上〕（農村環境改善センター 8：30～11：00）
6(木)	胃ガン検診〔40歳以上〕（宿コミュニティセンター 8：30～11：00） 健康相談（農村環境改善センター 9:30～11:00、役場 13:00～15:30） 中学校芸術鑑賞会「狂言」（勤労者体育センター 14：00～） 高齢者大学（唐津方面）
7(金)	胃ガン検診〔40歳以上〕（宿コミュニティセンター 8：30～11：00）
8(土)	
9(日)	第5回M&M料理コンクール（勤労福祉会館）
10(月)	胃ガン検診〔40歳以上〕（勤労者体育センター 8：30～11：00）
11(火)	胃ガン検診〔40歳以上〕（勤労者体育センター 8：30～11：00） リハビリの集い（農村環境改善センター 13:00～15:30） 中国語講座（町公民館 18：30～20：00）
12(水)	胃ガン検診〔40歳以上〕（勤労者体育センター 8：30～11：00） 妊婦教室（農村環境改善センター 9：30～16：00）
13(木)	胃ガン検診〔40歳以上〕（勤労福祉会館 8：30～11：00）
14(金)	胃ガン検診〔40歳以上〕（勤労福祉会館 8：30～11：00）
15(土)	
16(日)	
17(月)	愛のテレホン子ども相談室（町公民館 9：00～18：00） 母親教室〔母子手帳交付〕（町公民館 9：30～10：30） 胃ガン検診〔40歳以上〕（勤労福祉会館 8：30～11：00）
18(火)	ナイター利用調整会（町公民館 18：00～） 体育館利用調整会（町公民館 19：00～） 胃ガン検診〔40歳以上〕（永尾改善センター 8：30～11：00）
19(水)	乳児健康相談（勤労福祉会館 9：30～11：00、13：00～15：00）
20(木)	1学期終業式（各学校） 離乳食教室（町公民館 9：20～9：40）
21(金)	趣味の園芸教室（町公民館 19：30～21：30） リハビリの集い（町公民館 13：00～15：30） 長崎県少年の船（石田町 ～23日）
22(土)	
23(日)	町民バレーボール大会（勤労者体育センター）
24(月)	
25(火)	中国語講座（町公民館 18：30～20：00）
26(水)	1歳6カ月児健康診査（農村環境改善センター 13：00～13：20 H5.12月～H6．1月生）
27(木)	
28(金)	基本健康診査〔40～69歳〕（農村環境改善センター 9：00～10：30 13：00～14：30）
29(土)	
30(日)	
31(月)	

▶心配ごと相談……毎週水曜日（役場相談室 13：00～16：00）
▶不用犬回収……第1、2、3、4金曜日（役場 8：30～10：00）

ストップ ザ・交通事故

1月から5月に発生した町内の事故の状況をお知らせします。

- ・発生件数　30件（＋10）
- ・死　　者　2人（＋1）
- ・傷　　者　34人（＋15）
- ・物　　損　78件（＋1）
- ・飲酒運転検挙　4人

（　）は前年同月比

交通事故巡回相談

開催日　6月23日(金)　7月28日(金)
時　間　10時～16時
開催場所　川棚町役場

善意の窓

香典返しにかえて

湯無田郷　太田正文様
御母堂故太田ワサ様
湯無田郷　山本謙次郎様
御尊父故山本鐵雄様
折敷瀬郷　池田正隆様
御尊父故池田正道様
折敷瀬郷　福田トミ様
御主人故福田近市様
折敷瀬郷　田島フミ様
御主人故田島昇様
小樽郷　田﨑繁太様
御夫人故田﨑利子様
乙長野郷　本山三郎様
御令弟故本山土雄様
田ノ頭郷　田中悟様
御母堂故田中レイ様
宿郷　福田賢造様
御尊父故福田春次様
井石郷　桶谷チハヤ様
御子息故桶谷武男様
中尾郷　団武馬様
御母堂故団カヨ様
宿郷　山下一男様
御令姉故山下フサ子様
川内郷　髙月久雄様
御母堂故髙月カヤ様
宿郷　三岳弥栄様
御母堂故三岳テル様
甲長野郷　福田勝見様
御母堂故福田サツ様
永尾郷　川野勝幸様
御母堂故川野ユク様

お見舞返しにかえて

小樽郷　田嶋利治様
湯無田郷　土橋仁志様

金一封

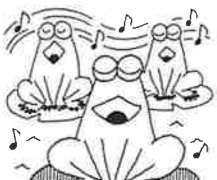
宿郷　吉野トシエ様

以上の方々から本町社会福祉事業資金に寄付していただきました。
それぞれの寄付に対し厚くお礼申し上げます。
波佐見町社会福祉協議会

来月の納金

（7月）

- ○固定資産税
- ○国民年金保険料
- ○国民健康保険料
- ○水道使用料



お誕生おめでとう

子の名	保護者	住所
原田真輝（まさてる）	松彦	湯無田郷
中嶋崇仁（たかのり）	和也	折敷瀬郷
中嶋久美（くみ）	博幸	折敷瀬郷
太田遥（はるか）	利道	宿郷
山口菜摘（なつみ）	昌彰	宿郷
関翔太（しょうた）	健一	村木郷
樫山祥太郎（しょうたろう）	季治	田ノ頭郷
福田祐大（ゆうだい）	康文	甲長野郷

ご結婚おめでとう

下田　和光	小樽郷
福井佐奈枝	北海道
田﨑　敏昭	小樽郷
坂本　則子	湯無田郷
岩佐　浩二	佐世保市
柳ケ瀬夏恵	湯無田郷
音辻　亘	金屋郷
齋藤　康子	佐世保市
松本　武浩	長崎市
松澤いずみ	金屋郷
小山　智史	佐世保市
松澤　恵美	金屋郷
芳野　和博	福岡県
樋渡由美子	折敷瀬郷
原　義幸	川内郷
浦　貴世江	小佐々町
山口　篤	川内郷
永田　泰子	佐世保市
岳邉　忠彦	岳辺田郷
浦　史子	東彼杵町
福田　真吾	乙長野郷
浪江ひとみ	乙長野郷
山田　修一	乙長野郷
柴田　恵子	川棚町
永渕　勉	広島市
下田ルミ子	志折郷

おくやみ申し上げます

川島美千恵	永尾郷	30歳
田嶋　ヨシ	折敷瀬郷	86歳
橋口　茂	皿山郷	82歳
松川　ツヤ	川内郷	90歳
切間　勇一	岳辺田郷	78歳
廣瀬　ミツ	乙長野郷	88歳

おわび

5月号の善意の窓で「御母堂故早川愛子様」とあるのは「御夫人故早川愛子様」の誤まりで、また、ご結婚おめでとうで「山口和能　川内郷」とあるのは「山口和能　東彼杵町」の誤まりでした。おわびして訂正いたします。

農薬による危険防止 こうすれば事故は防げる

6月から夏にかけての田植えが終わった田んぼでは、病害虫や雑草から農作物を守るために、農薬をまく機会が増えます。

農薬を使うときは容器の表示事項をよく読んで、それを守ってください。また、農薬の調製や散布をするときは、必ずゴム手袋や農業用マスク、保護眼鏡などの防護装備をしたうえで、慎重に取り扱ってください。

農薬を散布するときは、風の強くない朝夕の涼しい時間帯を選び、2～3時間ごとに交代しながら行いましょう。子どもや散布に関係ない人が作業現場に近づかないようにするのはもちろん、周りの環境に影響を及ぼさないよう風向きにも注意が必要です。風下に立って、農薬を浴びないようにしてください。作業後は、手足はもちろん全身をせっけんでよく洗い、洗眼します。また、衣服を毎日こまめに取り替えることも大切です。もし散布中にめまいや頭痛がしたり、気分が少しでも悪くなったりしたときは、医師の診断を受けましょう。

平成7年6月15日発行　発行／長崎県波佐見町　☎(0956)85―2111　編集／商工企画課　印刷所／㈱昭和堂印刷